2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年7月24日

上場会社名　株式会社東京會舘　　上場取引所　東
コード番号　9701　URL https://www.kaikan.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 渡辺　訓章
問合せ先責任者　(役職名) 取締役経理部長　(氏名) 山田　満男　TEL 03-3215-2111

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,087	0.4	383	△5.1	457	3.6	313	6.7
2026年3月期第1四半期	4,073	5.5	403	△0.6	441	6.7	293	△5.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	94.95	―
2026年3月期第1四半期	88.98	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	30,589	13,504	44.1
2026年3月期	30,173	13,131	43.5

(参考) 自己資本　2027年3月期第1四半期　13,504百万円　2026年3月期　13,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	―	―	45.00	45.00
2027年3月期	―				
2027年3月期(予想)		―	―	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,490	1.2	370	2.5	400	4.3	270	14.3	81.80
通期	16,330	0.4	1,440	0.2	1,500	1.3	1,010	2.1	306.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	3,463,943 株	2026年3月期	3,463,943 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	165,014 株	2026年3月期	164,934 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	3,298,979 株	2026年3月期1Q	3,299,500 株

(注)当社は、取締役に対する株式報酬制度を導入しており、株式交付信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。第2四半期累計期間および通期の業績につきましては、2026年5月7日に発表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には適切に開示いたします。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期累計期間の財政状態の概況 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期貸借対照表 …… 3
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 6
（セグメント情報等の注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 6

１．経営成績等の概況

（１）当四半期累計期間の経営成績の概況

当第１四半期累計期間における国内経済は、雇用や継続的賃上げによる所得環境の改善、底堅いインバウンド需要などを背景に、個人消費を中心に緩やかな回復基調となりました。一方、中東情勢や米国対外政策等に起因する地政学的リスクが引き続き高いことに加え、円安環境の継続による資源・原材料価格上昇と慢性的な人材不足など、供給サイドに起因する企業収益圧迫要因により、国内需要の見通しの先行きが不透明な状況は続いております。

このような状況の下、当社は新たな「中期経営計画（2026～2028年度）」の下で、今後長期にわたる持続的な成長を可能とするための組織基盤強化に施策の重点を置き、成長機会を適時に捉えて成果に繋げる体制構築に向けての取り組みを開始しました。人的資本や設備への戦略的投資を通じたブランド力の一層の向上と高付加価値戦略に基づく適正価格体系の実現、そしてAIをはじめとする技術革新の動きの積極的導入を通じた生産性向上を通じ、持続可能な利益成長を実現する収益構造を確立するための諸施策に着手しております。

その結果、当第１四半期累計期間の業績につきましては、売上高は4,087百万円（前年同期比14百万円増加）、営業利益は383百万円（前年同期比20百万円減少）、経常利益は457百万円(前年同期比15百万円増加)となり、四半期純利益は313百万円(前年同期比19百万円増加)となりました。営業利益の減少は、人員増を含む人的投資に伴う費用増加の影響によるものです。なお、当社の年度上期需要は一般的に前半が強く、売上高が多く計上される傾向にあります。

当社は、新たな中計の下で持続的収益構造強化の動きを進めつつ、創業以来一貫して維持してきた「確かなサービスと格調高い施設を提供することで、我が国の食文化の発展に貢献する」という使命を常に企業理念の中心に据え、期待を超える上質な味とサービスをお客様に継続的に提供することを通じて、当社の長期ビジョンである「『次の100年』も愛される人生の特別な場所であり続ける」ことの実現に取り組んで参ります。

（２）当四半期累計期間の財政状態の概況

総資産は、前事業年度末に比べて415百万円増加し30,589百万円となりました。その主な要因は、売掛金が113百万円、有価証券が500百万円、投資有価証券が307百万円それぞれ増加し、現金及び預金が404百万円、有形固定資産が80百万円減少したことであります。

負債は、前事業年度末に比べて42百万円増加し17,084百万円となりました。その主な要因は、未払金が286百万円、流動負債の「その他」に計上した未払消費税等が14百万円それぞれ増加し、未払法人税等が210百万円、長期借入金が60百万円それぞれ減少したことであります。

純資産は、四半期純利益の計上などにより、前事業年度末に比べ373百万円増加し13,504百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は前事業年度末に比べて0.6ポイント増加して44.1%となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

第２四半期累計期間および通期の業績につきましては、2026年５月７日に発表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には適切に開示いたします。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当第１四半期会計期間 (2026年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,761,541	2,357,033
売掛金	677,144	790,973
有価証券	5,600,000	6,100,000
商品及び製品	16,935	22,586
仕掛品	6,117	8,518
原材料及び貯蔵品	154,495	168,904
その他	151,307	146,397
貸倒引当金	△180	△175
流動資産合計	9,367,361	9,594,238
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,821,030	9,689,905
構築物（純額）	138,676	137,249
機械装置及び運搬具（純額）	84,531	81,260
工具、器具及び備品（純額）	204,693	208,127
土地	1,958,224	1,958,224
リース資産（純額）	526,564	477,983
建設仮勘定	―	100,000
有形固定資産合計	12,733,721	12,652,750
無形固定資産		
リース資産	3,607	1,442
電話加入権	3,009	3,009
無形固定資産合計	6,616	4,452
投資その他の資産		
投資有価証券	6,298,577	6,606,457
その他	1,767,349	1,731,252
投資その他の資産合計	8,065,926	8,337,710
固定資産合計	20,806,264	20,994,913
資産合計	30,173,626	30,589,151

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当第１四半期会計期間 (2026年６月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	260,476	264,749
短期借入金	190,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	240,000	240,000
未払金	1,158,699	1,444,837
未払法人税等	239,792	29,310
賞与引当金	341,600	148,560
役員賞与引当金	17,100	4,275
株主優待引当金	19,510	19,751
その他	737,066	824,210
流動負債合計	3,204,245	3,165,694
固定負債		
長期借入金	10,800,000	10,740,000
退職給付引当金	610,057	587,489
株式給付引当金	29,896	34,168
資産除去債務	60,726	60,867
その他	2,337,558	2,496,311
固定負債合計	13,838,239	13,918,837
負債合計	17,042,485	17,084,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,700,011	3,700,011
資本剰余金	2,242,367	2,242,367
利益剰余金	4,241,378	4,404,362
自己株式	△596,500	△596,842
株主資本合計	9,587,256	9,749,899
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,543,883	3,754,720
評価・換算差額等合計	3,543,883	3,754,720
純資産合計	13,131,140	13,504,619
負債純資産合計	30,173,626	30,589,151

（２）四半期損益計算書

第１四半期累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年６月30日）
売上高	4,073,520	4,087,874
売上原価	3,420,968	3,458,122
売上総利益	652,551	629,751
販売費及び一般管理費	248,992	246,633
営業利益	403,558	383,117
営業外収益		
受取利息	2,451	9,212
受取配当金	69,621	97,047
その他	2,302	2,064
営業外収益合計	74,374	108,323
営業外費用		
支払利息	21,079	19,675
コミットメントフィー	685	685
信託手数料	13,731	13,561
その他	629	―
営業外費用合計	36,124	33,923
経常利益	441,808	457,518
税引前四半期純利益	441,808	457,518
法人税、住民税及び事業税	43,247	26,265
法人税等調整額	104,980	118,012
法人税等合計	148,228	144,278
四半期純利益	293,580	313,239

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第１四半期累計期間(自　2025年４月１日　至　2025年６月30日)及び当第１四半期累計期間(自　2026年４月１日　至　2026年６月30日)

当社の報告セグメントは、レストラン・宴会事業及びこれらに関連した業務を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第１四半期累計期間(自　2026年４月１日　至　2026年６月30日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

当第１四半期累計期間（自　2026年４月１日　至　2026年６月30日）

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期累計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年６月30日)	当第１四半期累計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年６月30日)
減価償却費	194,608千円	198,768千円